

多摩市立中学校 9 校の司書がおすすめします!




SDGs・環境の本

発行者:多摩市立中学校 学校図書館司書一同
2022 年発行

2030 年にみなさんは何歳になっているでしょうか?SDGsは 2030 年までに達成しなければならない世界共通の目標です。SDGs に無関係な人は地球上に誰一人としていません。

特に環境問題。これまで大人たちが経済成長を優先して問題を先送りしてきたことで、これから生きるみなさんの未来は深刻な危機に直面しているのです。大人まかせていいですか?

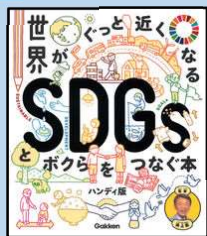
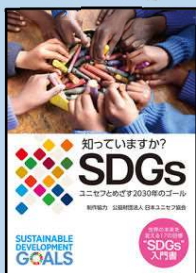
まずは世界で起きていることを知りましょう。地球の危機を解決するのは「自分」、地球上のあらゆる問題は「他人ごと」ではなく「自分ごと」なのです。

今回は SDGs17目標の内、環境分野である「目標6:安全な水とトイレを世界中に」「目標7:エネルギーをみんなに そしてクリーンに」「目標12:つくる責任つかう責任」「目標13:気候変動に具体的な対策を」「目標14:海の豊かさを守ろう」「目標15:陸の豊かさを守ろう」にテーマを絞って本を紹介しします。また、各目標が目指すことを身近に感じてもらえるような小説・ノンフィクションを「SDGsストーリー」として紹介しています。未来の担い手であるみなさんの力になりますように!

(紹介している本がすべて学校図書館にあるとは限りません。気になる本があったら司書に声をかけてね!)

SDGs を知ろう!

『知っていますか?SDGs
—ユニセフとめざす 2030 年のゴール—』
日本ユニセフ協会/制作協力
さ・え・ら書房



『世界がぐっと近くなる
SDGs とボくらをつなぐ本』
池上彰/監修
学研プラス

『未来の授業
—私たちの SDGs 探究 BOOK
身近な課題の解決に挑む
小中高の授業で使える!—』
佐藤真久/監修
宣伝会議



SDGsの達成状況
を知りたい



SDGS 報告 2021
(国連広報センター)

地球環境を知ろう!



『環境専門家になるには』
小熊みどり/著
ベリかん社



『こども環境学』
朝岡幸彦/監修
新星出版社

若者たちの声



『WE HAVE
A DREAM
—201 カ国 202 人
の夢×SDGs—』

WORLD DREAM PROJECT/編
いろは出版

今すぐ取り組めること
を知りたい



持続可能な社会のために
ナマケモノにもできる
アクション・ガイド(改訂版)
(国連広報センター)

*表紙画像等は、出版社の許可を得て掲載しています。



6 安全な水とトイレ
を世界中に



安全な水とトイレ
を世界中に



『武器ではなく 命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方』 2021年 宮田律／著 平凡社
アフガニスタンの感染症の患者には、抗生物質よりも清潔な水を与えるべきと、1,600本の井戸を掘った日本人の中村医師。戦いもある貧しい人々の環境を考え、行動し、現地で慕われた。

『トイレの話をしよう
世界 65 億人が抱える大問題』 2009年
ローズ・ジョージ／著 日本放送出版協会

「人は一生のうち3年間をトイレで過ごす」らしいが、それは一部の人だけの特権である。地球上の26億の人々はトイレがない。劣悪環境の中、命を落とす子どもは15秒に1人。トイレがあっても、衛生、貧困、教育、身分などの問題が複雑に絡み合う。それらを面白く問題提起した本。



この目標にも
関係あります↓



『図解でわかる
14歳からの水と環境問題』 2020年
インフォビジュアル研究所／著 太田出版

本書の特徴は、図表やイラストが豊富で一目でわかりやすいこと。一つのテーマにつき見開き一頁にまとめられており頭に入りやすいこと。ルビも多く、内容面も、水の歴史、水の危機的現状と原因、水問題の解決策と幅広く取り上げていること、などから中学生の探求学習に最適。



この目標にも
関係あります↓



『捨てられる食べものたち
食品ロス問題がわかる本』 2020年
井出留美／著 旬報社

本書の中で「最も貧困状態にある人を国が助けるべきか？」といった質問に対し、「完全に同意する」と答えた割合が、調査対象47ヶ国の中で、日本は15%と最低でした。」とある。これが、豊かな国と言えるのだろうか？ 私たちに突き付けられた「食」についての現実を知る。



この目標にも
関係あります↓



『リサイクル・プラネットー
リサイクルが地球の資源をすくう！
リサイクルを進めるためにできること』 2022年
アンナ・クレイボーン／作 評論社

地球環境のためにリサイクル！でも、ゴミを分別したらそこでおしまい？リサイクルの一手前やその先に目を向けてみよう。知っているようで知らなかったリサイクルの過程や弱点がわかる。リサイクルの仕組みには私たちの行動が必要。



この目標にも
関係あります↓



『おーい でてこーい』
「ねらわれた星」所収 2001年
星新一／作 理論社

台風のあとに現れた穴。叫んでも底があるようには感じない。そこで人々は原子炉のカスや都会の汚物を穴に捨て、ごみ問題を解決した。はたしてつくる責任がない世界はあるのだろうか。



12 つくる責任
つかう責任

つくる責任
つかう責任



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



エネルギーをみんなに、 そしてクリーンに



『風をつかまえた少年』

14歳だったぼくはたったひとりで
風力発電をつくった』 2011年
ウィリアム・カムクワンバ／著
文藝春秋

学費を払えず、中学校に行けなくなった主人公は図書室の本を読み、風車作りをやり遂げる。2001年の飢饉のこと、アフリカの馬拉ウイにいる魔術師のことなどについても記述。



『脱炭素時代を生き抜くための 「エネルギー」入門』 2021年

齋藤勝裕／著 実務教育出版

現代社会に欠かせないエネルギー。ところでエネルギーっていったい何？化石燃料から風力・水力などの再生可能エネルギー、超小型な地産地消エネルギーや開発中の技術…エネルギーの基礎知識から最新のエネルギー事情まで。人類の未来を託すに足るエネルギーはどれ？

この目標にも
関係あります↓



『地球温暖化を解決したい エネルギーをどう選ぶ?』 2021年

小西雅子／著 岩波書店

地球温暖化の問題はエネルギー問題(いかに二酸化炭素を出さないエネルギーに変えていくか)を考えること。まずさまざまなエネルギーの長所と短所を知り、その上で日本のエネルギーの将来像について、具体的に何をどう使っていくか自分なりに考えてみよう!



この目標にも
関係あります↓



『図解でわかる 14歳から知る気候変動』 2020年

インフォビジュアル研究所／著 太田出版

尋常ではない猛暑や毎年のように起こる自然災害など、誰もが実感するようになった気候変動。この変動はいつ頃から始まり、10年、30年後にはどうなってしまうのだろう。気候変動が何を引き起こすのかについて、12のポイントに絞り、イラストや図解を使って分かりやすく解説。



この目標にも
関係あります↓



『みんなが知りたい! 「地球のしくみ」と「環境問題」

地球で起きていることがわかる本』 2018年
北原義昭ほか／監修 メイツ出版

私たちが住む地球がどのように誕生し、どのような仕組みの惑星であるかを知ることは、環境問題を考える上でとても大切である。海・空・陸・動植物のすべてが関わり合い、繋がりを保ってきこの目標にもた地球。人間の行動がどのように地球に影響していくかがよくわかる。



『グレタのねがいー地球をまもり未来に生きる大人になるまで待つ必要なんてないー』 2020年

ヴァレンティナ・キャメリニ／著 西村書店

地球温暖化を食い止めるための行動を政府に迫るため、学校に行かず1人でストライキを始めた、15歳のグレタの物語。勇気と決意があれば、誰でも行動を起こせると教えてくれる。



13 気候変動に
具体的な対策を

気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



海の豊かさを守ろう



『サステナブル・ビーチ』

2021年
小手鞠るい／作 さ・え・ら書房

アメリカ人の母と日本人の父をもつ「ダブル」の七海は、「ハーフ」と偏見の目で見られるも小学生最後の夏休みをハワイで過ごし世界は大きく広がる。海の汚染を食い止め持続可能な海を取り戻すために七海が起こした「アクション」とは。

この目標にも
関係あります↓



『クジラのおなかからプラスチック』

2018年

保坂直紀／著 旬報社



私たちの生活から出たプラスチックは、陸上できちんと処理されない限り、やがては海に出て行ってしまいます。プラスチックごみを飲み込んだ生き物は弱っていき、マイクロプラスチックは食べた魚を通して人間の体内にも取り込まれている。世界中の人と、今、自分にできることを考える。

この目標にも
関係あります↓



『漁師さんの森づくり』

『森は海の恋人』 2000年
島山重篤／著 講談社

カキの養殖を営む筆者。豊かだった海は、高度経済成長期に激変、血ガキと呼ばれる真っ赤なカキが現れた。海の環境に目を向けた筆者は、海に流れ込む川、川を作る山に着目。海と森の結びつきに気付き、漁師たちによる植樹がはじまった。自然の繋がりを気付かせてくれる一冊。



この目標にも
関係あります↓



『本当はすごい森の話ー』

『林業家からのメッセージ』 2016年
田中惣次／著 少年写真新聞社

表面的には緑の森であっても、間伐や野生動物被害、自然災害など多くの問題を抱えている。さらに林業に携わる人も減少。森林は危機的な状況になっている。長年森林を見てきた著者が、林業の仕事と、森林が環境を守り、持続可能な資源であることを教えてくれる。



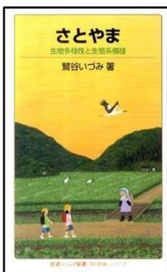
この目標にも
関係あります↓



『さとやま』

『生物多様性と生態系模様』 2011年
鷺谷いづみ／著 岩波書店

さとやまの過去・現在・未来について記述。集落・田畑・ため池・水路・樹林・草原などが組み合わせる生態系模様をさとやまは持つ。複雑な土地利用が多様な動植物の生育を可能にする。さとやまは日本が世界に誇れるものの一つ。本書を読んで人間と自然との共生について考えよう！



この目標にも
関係あります↓



『ワンガリ・マータイ』

『「MOTTAINAI」で地球を救おう
環境保護運動家<ケニア>』 2014年
筑摩書房編集部／著 筑摩書房

故郷ケニアの環境異変に気づき、「グリーンベルト運動」を始めた環境保護活動家ワンガリの伝記。植林により、環境保全や女性の地位向上を推進した彼女の意思の強さや豊かな感性、ケニアの歴史を知ろう。



15 陸の豊かさも
守ろう



陸の豊かさも守ろう